**第　学年　組　　職業実践モデル　学習指導案**

**年　月　日（　）　時間目　　　教室　　指導者**

|  |
| --- |
|  |

1. **単元名　はたらこう検定**
2. **単元の目標**

自分が住んでいる街で働くために必要なスキルを見いだし、周囲の人々と協働しながら身につける方法を考えることができる。

それぞれの職業についての長所や短所を客観的に整理することができる。

職業に対する改善点について、検討し、意見を伝えることができる。

時代の流れに合わせて職業を変えていくためのスキルを考え、他の人々と協働して新たな提案を創出することができる。

1. **単元の教科・科目との関連性**

算数・数学科 ：計算が必要な課題に関する活動

理科 ：農業における植物や生物、環境にまつわる課題に関する活動

社会科 ：職業の歴史や社会での位置づけを知る活動

技術家庭科 ：電子機器の取り扱いやプログラミングに関する活動

図画工作・芸術科 ：工業デザインを含むデザインに関する活動

1. **単元の評価規準**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | **評価の観点** | **S** | **A** | **B** | **C** |
| 知能および技能 |  | 職業について客観的に整理することができる。 | 問いかけに対して整理できており、解決策の見通しができている | 問いかけに対する整理ができており、まとめられている | 問いかけに対する点を挙げているが、整理できていない | 問いかけの内容を理解できていない |
|  | 職業と人々の生活との関連について、整理することができる。 | 問いかけに対して整理できており、解決策の見通しができている | 問いかけに対する整理ができており、まとめられている | 問いかけに対する点を挙げているが、整理できていない | 問いかけの内容を理解できていない |
|  | 自ら課題を見いだし、課題に対する情報を収集し、整理分析することができる。 | 問いかけに対して整理できており、解決策の見通しができている | 問いかけに対する整理ができており、まとめられている | 問いかけに対する点を挙げているが、整理できていない | 問いかけの内容を理解できていない |
| 思考力・判断力・表現力等 |  | 仕事の改善のために改善点を検討し、意見を伝えることができる。 | 問いかけに対する意見をまとめ、他の意見との調整ができる | 問いかけに対する意見を周囲に伝え、まとめることができる | 問いかけに対する提案はできても、周囲との調整ができない | 問いかけに対する回答を考えられず、意見の交換ができない |
|  | 仕事の改善のために、論理的思考力や科学的根拠に基づいて議論できる。 | 困難な状況に柔軟に対応し科学的で論理的な解決策を見いだせる | 複雑な状況に柔軟に対応でき、科学的で論理的な議論ができる | 科学的根拠や論理性に欠け、他の意見との調整ができない | 問いかけの内容を理解できず、思いつきで発言している |
|  | 自ら見いだした課題に対する考えを持ち、その考えを表現し、共有することができる。 | 周囲の意見や考えに共感しつつ、自らの意見との統合ができる | 問いかけに対する考えを周囲に伝え共有することができる | 問いかけに対する意見や考えの統合ができず、一方的である | 問いかけの内容を理解できず、意見の交換ができない |
| 主体的に学習に取り組む態度 |  | 仕事のために必要なスキルを考え、他の人々と協働して新たな提案を創出することができる。 | 自らの意見の発信だけでなく周囲の意見の聴取方法も提案している | 問いかけに対する発展的な意見を発信することができる | 問いかけに対して第三者的で自分自身がすべきことが理解できない | 問いかけの内容を理解できず、一方的な意見しか発信できない |
|  | 仕事上の課題の解決に対して、他のメンバーと協働して新たな方策を考えることができる。 | 一緒に仕事を行うメンバーとの協働などにより、視野を広げて思考できる | 問いかけに対して一緒に働くメンバーの立場で考え、方策を提案できる | 問いかけに対する方策が第三者的視点であり、協働できていない | 与えられた問いかけの内容を理解できず解決案を提案できない |
|  | 課題に対する探究活動を継続的、また、自律的に行い、探究の内容を深めることができる。 | 他の探究活動と関連付けて実際の問題に取り組むことができる | 探究活動を理解し、有意義な探究の連鎖につながる活動を行える | 探究活動の趣旨は理解できているが、更なる課題を見いだせない | 探究活動の趣旨を理解できず、次の課題を見いだすことができない |

1. **指導と評価の計画（全３時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **小単元名(時数)** | **主な学習活動** | **評価基準及び評価方法** |
| **コマ①**仕事と職業(1時間) | ワークシートを使い、次の学習を行う1)仕事とはどういうものか知り職業は生まれてはなくなるということをしることで、どのような職業につきたいのかなどを考える2)自分たちのすむ自治体にある職業を考え、どの自治体も存在するものと、その自治体またはエリア独特の職業とに分けて考える | ワークシートの記載内容で評価a)職業の変遷について無くなった理由を含めて書けているかb)自分たちの住む自治体に存在する職業について具体的に書けているか |
| **コマ②**農業(1時間) | ワークシートを使い、次の学習を行う1)農業の課題解決に新しい技術の導入があることを知る2)導入する技術の例としてドローンに着目し、飛行経路を想定して計算する | ワークシートの記載内容で評価a)課題や解決の手段を理解したかb)ドローンの飛行経路と飛行距離を具体的に計算できたか |
| **コマ③**製造業(カバン)（１時間） | ワークシートを使い、次の学習を行う1)製造業の課題解決に重要な要素として考えられているものを知る2)一つの例としてデザインの多様化で販売を増やしている例を挙げ、実際にデザインを行ってみる | ワークシートの記載内容で評価a)課題や解決の手段を理解したかb)テーマを持ってデザインを行う事ができたか |

1. **本時案（第２小単元）**

**(1）本時の目標**

農業に焦点を当て、その問題点や解決すべき課題を知る。同時に導入可能な新しい技術や稼ぎ方を公民的観点、技術的観点から学ぶ。

またドローンを例に、肥料や農薬を散布する場合の飛行計画を数学的な視点から考える。

**(2）本時に関連する教科・科目・単元**

地理総合 「持続可能な地域づくりと私たち」、

地理探求 「現代社会の系統地理的考察」、

公共 「持続可能な社会づくりの主体となる私たち」

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **学習活動** | **教師の指導・支援** | **学習評価** |
| １ 導入　（3分）２ 動画の視聴　（5分）３ 意見のまとめ　（5分）４ 発表　（10分）５ 動画の視聴　（3分）６ 実習　（10分）７ 答え合わせ　（5分）８ まとめ　（4分） | ・本単元での学習内容を説明　「農業」について考える旨を提示する。・動画の再生（はたらこう検定農業-1（インタビュー）.mp4）・農業について技術的な面からの改善方法について考えるよう促す・各生徒の進捗確認・行き詰まっている生徒の支援・グループ毎に調べた内容を発表する・動画の再生（はたらこう検定農業-2.mp4）・図形に補助線などを引きながら計算するよう促す・各生徒の進捗確認・行き詰まっている生徒の支援・スライドを使いながら答え合わせをする・何人かの生徒を当てて答えを発表させても良い・農業についての問題点や解決方法の糸口などをまとめる・次回の内容について説明を行う | a)農業についての改善点について技術的な面から考えられているかb)数学の技能を使いながら、論理的に考えられているか |

 **(3）展開**